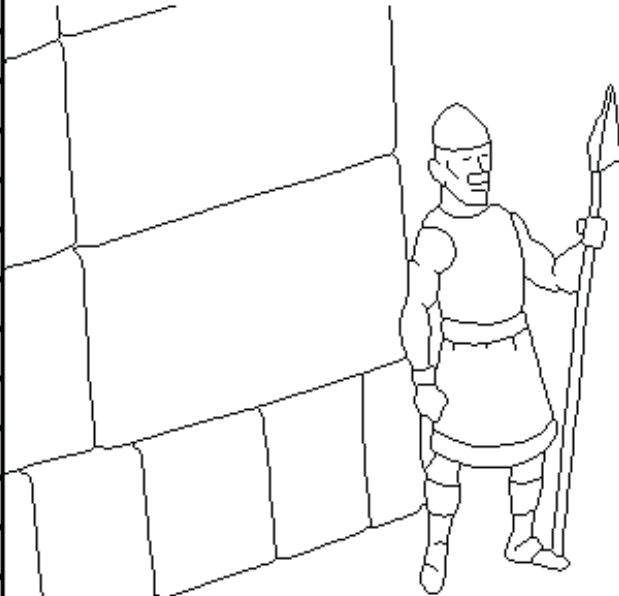


こども
子供のインターネットバイブル
あんない
案内いたします



ネヘミヤの
おお
大いなるかべ

ぶん
文: Edward Hughes
え
絵: Jonathan Hay

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki 監修者: Dan Ellrick
しゅつばんしゃ
出版社: Mary-Anne S.

60話の第35話

www.M1914.org

Bible for Children, PO Box 3, Winnipeg, MB R3C 2G1 Canada

まよ しゃ たにん う けぞ はなし また まよ しゃ
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。

日本語

Japanese

ペルシャという とても力のつよい国が、ありました。このお話は、その国
が世界中で、いちばんつよかったところのことです。その王さまアルタクセ
ルクセス王は、世界で一番力のある王さまでした。その王さまに、
仕える大切な役人の一人に、ユダ
ヤ人でネヘミヤという名の男の人
がいましたよ。かれの仕事はね、
王さまの食べものを先に食べて、
「どくが入っていないかな？」って、
しらべることでした。こうやって、
かれは王さまを守っ
ていたのです。



1

ある日、ネヘミヤは、とてもかなしそうなかおをして、
王さまの前にやってきました。「いったい、どうしたんだろう。」
王さまは、しんぱいです。ネヘミヤは、「王さま、どうか、
ずっといつまでも、生きてくださいますように。」



2

い
と
言
つ
て
か
ら
、
わ
け
を
話
し
ま
し
た
。
「
王
さ
ま
、
わ
た
し
が
、
か
な
し
ん
で
い
る
の
は
、
亡
く
な
っ
た
わ
た
し
の
父
が
、
う
ず
め
ら
れ
て
い
る
町
が
、
あ
れ
は
て
て
し
ま
い
、
門
も
焼
か
れ
て
し
ま
っ
た
か
ら
な
の
で
す
。」
ネ
ヘ
ミ
ヤ
は
、

エルサレムの町のことを、言っているんですね。

そこは、何年もまえに、たたかひがあり、
ほろぼされていました。



3

王さまアルタセルクセスは、たずねました。「ネヘミヤ、それじゃ、
どうしたらいいのかな？」ネヘミヤは、王さまにおねがいしました。

「王さま、わたしをエルサレムへ行かせてください。」



4

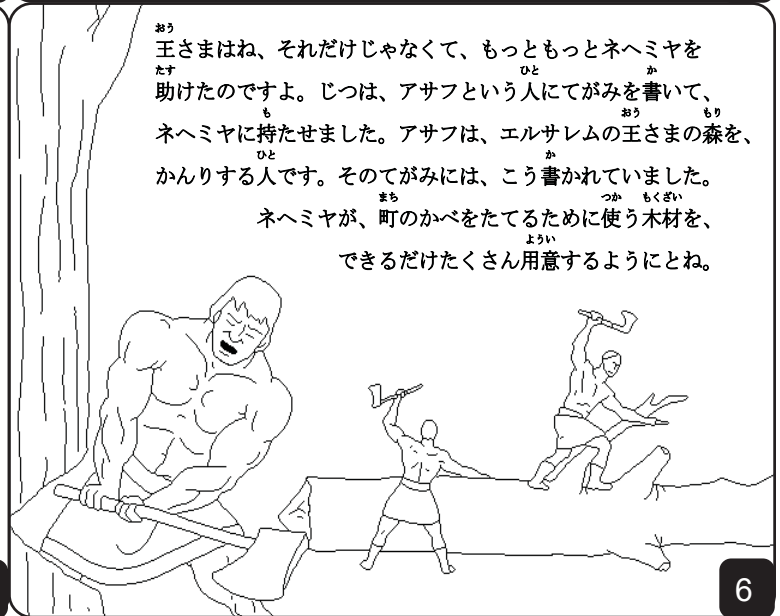
そうすれば、町をたてなおすことが、できるのです。」

「よし、わかった。行くがいい！」アルタセルクセス王は、
よろこんで、さんせいしてくれましたよ。それにね、王さまは、
ネヘミヤがたびをしているあいだ、守ってやろうと思って、
そこの役人への手紙も、
持たせました。



5

王さまはね、それだけじゃなくて、もっともってネヘミヤを
助けたのですよ。じつは、アサフという人にてがみを書いて、
ネヘミヤに持たせました。アサフは、エルサレムの王さまの森を、
かんりする人です。そのてがみには、こう書かれていました。
ネヘミヤが、町のかべをたてるために使う木材を、
できるだけたくさん用意するようにとね。



6

エルサレムに着いたとき、ネヘミヤは、町の役人たちを、あつめて言いました。
「われわれは、今、たいへんなときなのだ。この町は、すっかり、
ほろびてしまった。門までやかれてしまったのだから。さあ、
みんなで、新しくたてなおそうではないか。」



7

ネヘミヤは、かれらにアルタセルクセス王も、
さんせいされていることを言いました。そして、何よりも一ばん大切なこと、
つまり、神さまが、味方してくださっていることを伝えました。



8

ネヘミヤが、神さまを信じ求めるつよい気持ちは、人びとに「やろう！」という気をおこせたにちがいありませんね。かれらは、うなずきあって言いました。「ようし、やろうじゃないか！」ネヘミヤは、それぞれの家へ行き、かべのどの部分を、なおさなければならぬかを知らせました。



9

でもね、みんながみんな、かべをたて直そうって、よろこんで言ったわけじゃないですよ。サンバラテという名の男の人、それにかれの二人の友だちトビヤとゲシエムは、ユダヤ人じゃありませんでした。



だから、かべをたて直したり、門をやり直したりしなかったのです。

10

さて、仕事がだんだんすすんでくると、サンバラテは、とても腹がたってきました。そこで、かれとその友だちは、ユダヤの人をからかいました。トビヤは、こんなことを言いましたよ。



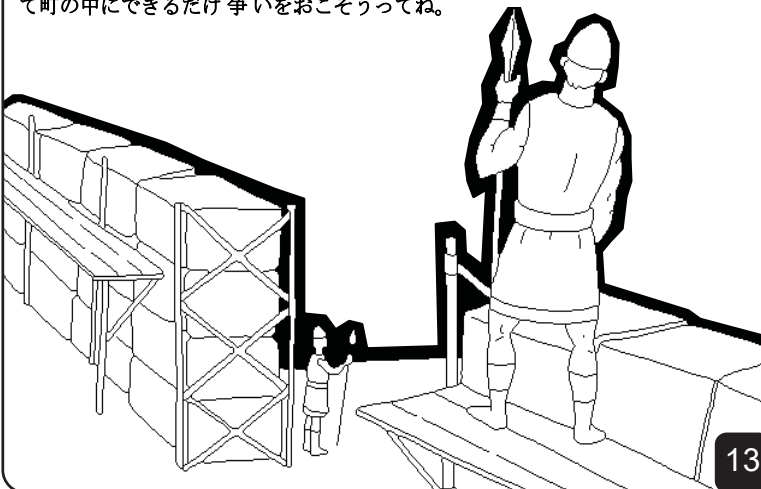
11

「やあい、そんなに、うすっぺらいかべの建てものをつくって、どうするんだい？ 小さなキツネがやってきて、こなごなにするだろうさ。」ネヘミヤは、いくらからかわれても、知らんかお。かわりに、ただ祈りました。だって神さまが、そんなやつらを、さばいてくださるのですから。



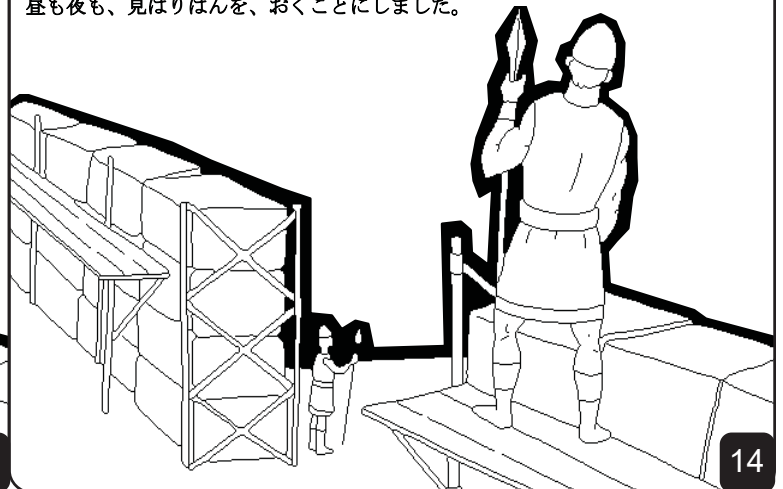
12

ネヘミヤたちを、どんなにからかっても、何の役にもたたないようです。そこで、かれらはいっしょに計画をたてました。エルサレムを攻めよう、そして町の中でできるだけ争いをおこそうってね。



13

それを知ったネヘミヤは、「神さま、助けてください。」って、また祈りました。そして、悪いやつらに、とつぜん攻められないよう、昼も夜も、見はりばんを、おくことにしました。



14

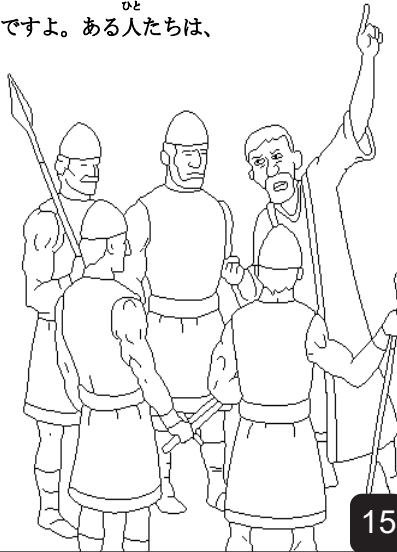
ユダヤの人たちは、ほんとうにいっしょうけんめい働きました。

それで、だんだん、つかれてきたようです。ある人たちは、なんだかこわくなってきて、

こんなことを考えるようになりました。

働いている間に、

てきが攻めてきて、自分たちを殺してしまうんじゃないだろうかって。



15

それでも、ネヘミヤは、この仕事を、とちゅうでやめたりしません。

まわりに見はりの人をおいて、みんなをはげました。

「わたしたちには、

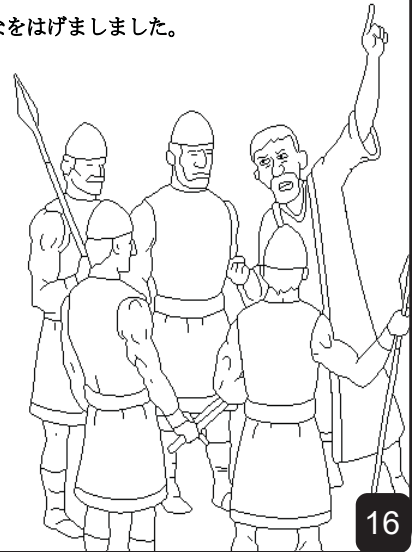
どんなに強いてきよりも、

もっと強い神さまが、ついていらっしゃるんだ。」

こういって、

みんなに神さまのことを、

思い出させました。



16

ネヘミヤは、みんなのよいお手本になろうとしました。

アルタクセルクセス王は、

ネヘミヤをエルサレムの長官にし、

人びとからお金や食べものを、とりたてることができるようにしました。でもね、かれは、そんなことは、いっさいしませんよ。



17

ただ、人々といっしょに、いっしょうけんめい働きました。

かべを、新しくしようってね。

食べものを買うときは、

もちろん自分のお金をつかいますよ。



18

やっとのことで、人々は、かべをつくり終わりました。

ただし、まん中の門のとびらだけ、まだですね。あれあれっ、

かべがすっかりできあがったことを聞いたサンバラト、トビヤとグシエム、

なにやら悪いことを思いついたようですよ。

ネヘミヤを、困らせてやろうって。



19

かれらは、ネヘミヤにメッセージを送って言いました。「オノというところで、

会いましょう。」けれども、ネヘミヤは、かれらが自分をだまして、

町からつれ出し、困らせようとしているとわかりました。そこで、

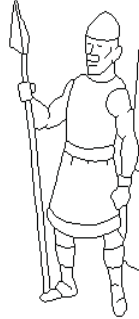
ネヘミヤは、かれらにこのようにへんじを、書きました。「わたしは、

あなたたちに会いにいけません。今、しごとを休むわけにいかないんです。」



20

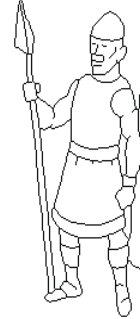
とうとう、かべも、
とびらもできあがりました。
ネヘミヤは、町をまもるため、
あちこちに見はりの人
をおきましたよ。



それから、
ネヘミヤはひとつのきま
りを作りました。

21

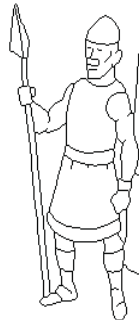
それはね、お日さ
まが上^あがって、空がほんど
うに明るくなるまで、



もん
門をあけてはならな
いってきまりです。

22

よる
夜になると、
もん
門をみんなしめてしまい、



かんぬきが、
かけられました。

23

だから、町はもう安全ですね。世界中においやられたユダヤの人々が、
またエルサレムにもどってきましたよ。ネヘミヤは、うれしくてたまりません。

どうしてって、たくさんのつらいことをのりこえて、神さまがネヘミヤに

与えられた仕事を、
さいごまでや
ったのですから。
そのあとも、ネヘ
ミヤは、みんなとい
っしょにエルサレ
ムに住みました。
「いつも、
神さまにしたが
いましょう。」
って言って、
はげましつ
づけましたよ。



24

ネヘミヤの 大なるかべ
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

ネヘミヤ記

あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

詩篇 119:130

神さまは、私たちがよくないことをしたことを、しっぺいらっしやいます。

神さまは、それを罪とよばれています。罪のむくい、死です。

神さまは、私たちをとても愛されたので、み子イエスさまをこの世におくってくださいまし
た。そして、イエスさまが十字架で亡くなられることによって、私たちの罪をとってくだ

さったのです。イエスさまは、よみがえられ天国へ
もどられましたね！ですから、今、神さまはあなたの罪をゆるしてくださいます。

もし、あなたがあなたの罪からはなれたいなら、神さまにこう言ってください。
愛する神さま、私は、イエスさまが私のために亡くなってくださり、よみがえって、今また
生きていらっしやることを信じます。どうか、私のこころの中に入り、罪をゆるしてください
さい。それで、私は今、あたらしい命をいただくことができます。そして、いつまでも、あな
たといっしょにすることができるのです。あなたの子として、生きることができますよう、
たすけてください。アーメン

ヨハネによる福音書 3:16

まいにち、聖書をよみ、神さまと、おはなししましょう！